

事業所における自己評価総括表

公表

○事業所名	一般社団法人 歩末 はるの風			
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 27日			～ 令和7年 12月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数)	16名
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 1日			～ 令和7年 12月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 12月 15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様一人ひとりへの丁寧な関わり	支援計画に基づき、個々の目標、課題に対して、お子様のペースに合わせ、取り組んでおります。お子様の強みも理解し、身体状況等に配慮しながら、一人ひとりの今しかない時間、かけがえのない日々を大切にしています。	今後も、ご家族様も含め、お子様と密にコミュニケーションを取り、信頼関係構築に努めてまいります。 その都度、職員間での現状把握を行い、お子様への支援がどの職員も変わることなくできる様、すり合わせ、お子様一人ひとりに寄り添ってまいります。
2	柔軟な療育プログラム	活動プログラムが固定化しない様、日々職員が変動し、主体を変え、プログラムの立案をしています。 予定した内容があつても、お子様の状況に合わせ、延期や中止をする事もあります。その際も代替え案を用意し、楽しい気持ちで過ごしていただけるように工夫しています。	今後もお子様に合わせ、楽しく過ごしていただける様、日々の療育の振り返りや反省をしてまいります。その中で、良い物は継続し、改善の必要な事は見直し、より良い療育のプログラムが組める様に尽力してまいります。
3	支援内容の発信	日々の支援内容について、連絡帳や送迎時、お便りやインスタグラム等でお知らせしています。面談時には、ゆっくりとお話しさせていただき、お子様の支援についての共通理解も図らせています。	今後も、情報ツール等も活用しながら、お子様の様子が分かりやすくお伝えできる様に努めてまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	2人体制での送迎が厳しい	送迎ルートが多方面にあり、2人体制で送迎対応ができる職員等の準備が整っていない状況です。	乗車時の安全確認、及び走行中や降車時も安全確認を徹底し、安全な送迎ができる様に努めてまいります。
2	多事業所との連携	相談員を通して必要な情報共有は行われているが、事業所同士が直接情報を共有する場を作る事が時間的に困難な状況です。	担当者会議などの時間調整を工夫できる様に検討してまいります。
3	地域交流	イベントを公共施設を借りて実施しているが、近隣を招いての活動を取り組むまではまだ難しい状況です。	安全を考慮しながら、地域交流に繋がる外部参加行事を検討してまいります。